



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 丸文株式会社

上場取引所 東

コード番号 7537 URL <http://www.marubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 象司

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 渋谷 敏弘

TEL 03-3639-3010

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	187,447	18.7	2,158	117.3	2,024	156.0	1,051	—
25年3月期第3四半期	157,915	△9.4	993	△38.1	790	△36.6	△100	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,820百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △148百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	40.23	—
25年3月期第3四半期	△3.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	116,281	30.5	39,846	32.2		
25年3月期	104,743		37,547			

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 35,478百万円 25年3月期 33,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	253,000	14.9	3,500	17.0	3,350	34.0	1,675	95.3	64.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	28,051,200 株	25年3月期	28,051,200 株
26年3月期3Q	1,915,259 株	25年3月期	1,915,167 株
26年3月期3Q	26,136,010 株	25年3月期3Q	26,136,347 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国の経済は、中国の成長鈍化など海外景気の下振れリスクが懸念されるものの、政府の経済対策や金融政策の効果が現れる中で、企業収益が改善し、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、デジタルカメラやTVなどの民生機器の低迷が続く一方で、スマートフォンやタブレットPCの需要拡大が継続し、車載向けや産業機器向けも増加しました。また半導体市場では、DRAMの価格が需要増加により上昇しましたが、半導体製造装置については、前工程装置は堅調だったものの、後工程装置の回復は遅れました。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比18.7%増の187,447百万円となりました。営業利益は、前年同期比117.3%増の2,158百万円、経常利益は、前年同期比156.0%増の2,024百万円となりました。四半期純利益は、1,051百万円(前年同期は100百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (デバイス事業)

デバイス事業は、デジタルカメラやゲーム機、プロジェクター向けの半導体の売上が減少した一方で、通信モジュール向け半導体が好調に推移し、タブレット・ノートPC、車載向けの半導体やTV向け液晶パネルも売上が増加しました。その結果、売上高は前年同期比19.4%増の163,988百万円、セグメント利益は前年同期比196.6%増の1,901百万円となりました。

#### (システム事業)

システム事業は、科学機器の薄膜製造装置の売上が減少したものの、半導体非破壊検査装置の需要増や従来持分法適用会社であった関係会社の子会社化により試験計測機器の売上が増加し、医用機器も画像診断装置が好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比13.8%増の23,459百万円となりましたが、セグメント利益は子会社の増加により販売費及び一般管理費が増加したため、前年同期比25.7%減の266百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は104,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,957百万円増加いたしました。これは主に商品及び製品が4,632百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が10,238百万円、現金及び預金が4,972百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は11,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ580百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が509百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、116,281百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,538百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は58,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,135百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が380百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が9,409百万円、未払法人税等が136百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は18,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が100百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、76,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,239百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は39,846百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,298百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が678百万円、利益剰余金が659百万円、少数株主持分が587百万円、その他有価証券評価差額金が334百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は30.5%(前連結会計年度末は32.2%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,440	22,412
受取手形及び売掛金	48,299	58,537
商品及び製品	25,378	20,746
仕掛品	47	79
繰延税金資産	1,567	1,451
その他	1,097	1,547
貸倒引当金	△31	△18
流動資産合計	93,799	104,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,062	4,119
減価償却累計額	△2,666	△2,756
建物及び構築物（純額）	1,396	1,362
機械装置及び運搬具	26	27
減価償却累計額	△23	△24
機械装置及び運搬具（純額）	3	2
工具、器具及び備品	2,048	2,045
減価償却累計額	△1,643	△1,695
工具、器具及び備品（純額）	405	350
土地	2,466	2,510
リース資産	41	68
減価償却累計額	△11	△21
リース資産（純額）	29	47
建設仮勘定	0	13
有形固定資産合計	4,302	4,287
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	401	413
無形固定資産合計	406	416
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744	2,254
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	1,617	1,389
投資不動産	3,059	3,019
減価償却累計額	△2,048	△2,062
投資不動産（純額）	1,010	957
その他	1,857	2,216
投資その他の資産合計	6,234	6,820
固定資産合計	10,943	11,524
資産合計	104,743	116,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,523	42,933
短期借入金	11,687	11,674
1年内返済予定の長期借入金	34	34
1年内償還予定の社債	21	—
未払法人税等	109	246
賞与引当金	808	427
資産除去債務	12	—
その他	2,844	2,861
流動負債合計	49,042	58,177
固定負債		
長期借入金	16,037	16,032
退職給付引当金	1,461	1,561
役員退職慰労引当金	244	218
資産除去債務	111	119
その他	298	325
固定負債合計	18,153	18,257
負債合計	67,195	76,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,214	6,214
資本剰余金	6,353	6,353
利益剰余金	24,097	24,756
自己株式	△1,630	△1,630
株主資本合計	35,035	35,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	548
繰延ヘッジ損益	△656	△616
為替換算調整勘定	△826	△148
その他の包括利益累計額合計	△1,269	△216
少数株主持分	3,781	4,368
純資産合計	37,547	39,846
負債純資産合計	104,743	116,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	157,915	187,447
売上原価	145,864	174,364
売上総利益	12,050	13,083
販売費及び一般管理費	11,057	10,925
営業利益	993	2,158
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	26	29
持分法による投資利益	61	178
投資不動産賃貸料	132	117
雑収入	196	188
営業外収益合計	426	523
営業外費用		
支払利息	265	211
為替差損	137	245
雑損失	225	200
営業外費用合計	628	657
経常利益	790	2,024
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	91	—
投資不動産売却益	2	10
負ののれん発生益	—	1
特別利益合計	94	11
特別損失		
固定資産除売却損	66	20
投資有価証券評価損	19	29
和解金	283	—
退職特別加算金等	344	—
段階取得に係る差損	—	17
その他	—	0
特別損失合計	713	67
税金等調整前四半期純利益	171	1,969
法人税等	△17	667
少数株主損益調整前四半期純利益	188	1,301
少数株主利益	289	249
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△100	1,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188	1,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△75	329
繰延ヘッジ損益	△295	39
為替換算調整勘定	29	1,144
持分法適用会社に対する持分相当額	4	5
その他の包括利益合計	△337	1,518
四半期包括利益	△148	2,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△444	2,103
少数株主に係る四半期包括利益	296	716

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	171	1,969
減価償却費	394	299
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	33	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△361	△393
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△254	△26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△115	87
受取利息及び受取配当金	△36	△38
支払利息	265	211
為替差損益 (△は益)	△152	△737
持分法による投資損益 (△は益)	△61	△178
投資不動産売却損益 (△は益)	△2	△10
投資不動産賃貸料	△132	△117
投資有価証券売却損益 (△は益)	△91	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	29
固定資産除売却損益 (△は益)	66	20
和解金	283	—
退職特別加算金等	344	—
負ののれん発生益	—	△1
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	17
売上債権の増減額 (△は増加)	16,735	△8,693
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,952	4,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,163	8,030
その他	490	△313
小計	8,479	5,108
利息及び配当金の受取額	50	63
利息の支払額	△272	△217
法人税等の支払額	△601	△575
法人税等の還付額	33	174
和解金の支払額	△283	—
退職特別加算金等の支払額	△293	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,112	4,553
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△168
定期預金の払戻による収入	200	239
有形固定資産の取得による支出	△195	△124
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△148	△118
投資有価証券の取得による支出	△157	△17
投資有価証券の売却による収入	191	—
投資不動産の売却による収入	10	33
投資不動産の賃貸による収入	132	115
資産除去債務の履行による支出	△106	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	46
その他	△34	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107	△77

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11,154	△78
長期借入金の返済による支出	△25	△87
社債の償還による支出	△24	△21
配当金の支払額	△337	△389
少数株主への配当金の支払額	△81	△129
その他	△6	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,630	△717
現金及び現金同等物に係る換算差額	169	1,133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,457	4,892
現金及び現金同等物の期首残高	17,923	17,410
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,466	22,303

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	137,305	20,609	157,915	157,915	—	157,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	165	165	165	△165	—
計	137,305	20,774	158,080	158,080	△165	157,915
セグメント利益	641	359	1,000	1,000	△6	993

(注) 1. セグメント利益の調整額△6百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デバイス 事業	システム 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	163,988	23,459	187,447	187,447	—	187,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	11	11	11	△11	—
計	163,988	23,470	187,459	187,459	△11	187,447
セグメント利益	1,901	266	2,168	2,168	△9	2,158

(注) 1. セグメント利益の調整額△9百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない投資不動産に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。